

---

# 大好きな言葉は「孤高道」

sakko4444

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

大好きな言葉は「孤高道」

### 【Nコード】

N4143V

### 【作者名】

sakko4444

### 【あらすじ】

兄と私のものごと。

もうそろそろ時効かな。

そう、最近思うようになった。

お兄ちゃんを許そうと。

私は2人兄弟の末っ子長女だ。

2つ年上の兄がいる。

この兄が、昔からとんでもない問題児。

家に遊びに来る友達はみんな、茶髪は当たり前、耳に乾電池いれてたり、びっくりしたのは今時リーゼントな人もいるのだ。

そんな兄は小学から煙草に手をだし、中学でシンナー、高校で薬をやっていた。

家の路地で学校帰りにばったりシンナー吸ってる兄を見たときは本気でぞっとした。

あるとき、2階の部屋から

バタバタバタバタア~~~~

と降りてきて、こっち見るなり

「お前、習字の墨もつとるや？」

「えつつ、学校で使ってるやつあるけど。」

「ちよつと貸せや。」

次の日の朝、起きてきた兄を見て愕然。

腕に大きな入れ墨があった。  
腕には「孤高道」と書かれていた。

「え？はあ？あの墨ってこのための墨？」

その日から兄はおかしくなった。

家の貯金箱からお金を取り、お母さんの財布からお金を取り、勝手に質屋にいれたり、

拳句の果てには、妹の私からお金を借りる始末。

もちろん、わたしはそのたびに断わってはいたが、やはり兄でも怖いものは怖い。

たまに貸すしかなかった。

そんな兄を見て育った私は絶対に兄にだけはないと思う、勉強をし、毎日明るく元気な笑顔をし、家の中の闇とずっと戦っていた。

もちろん、そんな息子を持つ親は一日中しかめっつら。どなりっぱなし。

そんな家庭を明るくしたかった。

お兄ちゃんだけじゃなく、本当はもっと私を見てほしかった。

私もただの中学生。子どものものだ。

そんな生活が3年以上続き、私は高校卒業とともに家をでることにした。

もうこんな家にはいたくなかった。

家を出る前の日、

バタバタバタバタバタ

と兄が2階からおりてきた。

家にいてもめつたに話さない兄弟。

一旦外に出たら、口をきくことを禁止されてた兄弟。（兄に話しかけるなど言われていた）

そんな兄が一言。

「これ。」

「え、なにこれ。」

「お前に借りた金・・・返す。」

「え、いやでも、もう覚えてないし。」

「遅くなつてわりい。」

たったそれだけのやり取りだった。  
お金を貸したのが確か中2の時。  
あれから5年。返ってきた。

そして、あれから10年。

今でも覚えてるあの日のこと。

そしてたまに思い出すあの日のこと。

あの時なんで、私にだけお金を返してくれたのか。（親にも友達にも借りていた）

なんで、今まで返してくれなかったのか。  
なんで、ちゃんと覚えていたのか。

なんでなんでなんで・・・

私に一つだけ分かるのは、兄はちゃんと「兄」を貫いてくれたこと。  
私をちゃんと「妹」と思っていてくれたこと。

兄のことをどこかでずっと恨んでいた。  
そして、そんな自分が嫌だった。

許そう。

そう思った。

目の前にいるのは私のたった一人の兄。  
あの時、お金を返してくれた兄。

そう思いながら、伝票を片手に席をたった。

「おじつてくれんの？サンキュー」

後ろからは兄のお気楽な声だけが響いていた。

「1万5千円です。」

「・・・」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4143v/>

---

好きな言葉は「孤高道」

2011年10月9日13時28分発行